

新 春

柳 原 燐 子

「やあ、キャンデーだ、キャンデーが降り出した
よ。」

と、ちい坊は両手を一ぱいに弘げて、溜めました。

すると、今度は餡パンが降り出しました。

「餡パンだ、餡パンだよ。」

ちい坊は着物を脱いで受けました。

餡パンがあまりどつさり降つたので、ちい坊は

餡パンの中へ埋まつてしまいました。

「大變だ——、助けて——、助けて——。」

大聲で叫ぶと、

「ちい坊や、ちい坊や」

とお母さんがお呼びになりました。ちい坊は喜ん

で、お母さんに飛びつきました。

「ちい坊や、夢を見たのかへ。」

お母さんに言はれて、ちい坊は目が覺めました。

それはちい坊の初夢でした。

あけてけさいくつと數ふ吾子の年一夜のうちけ
大きうなりしはも。

年あけて心すがしき幼らのかほ見つゝわれのお
もふことなし。

新らしき着物をさせて親のつとめよくせりとお
もふけさのよろこび。